

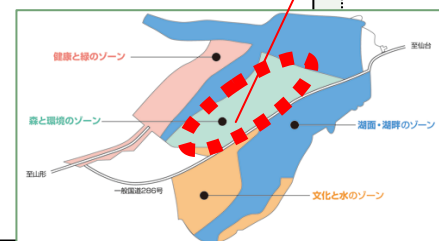


みちのく森の楽校をよう 第1回

みちのく公園「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



4月26日(土) 晴れ 平成26年度 森の楽校 開講！

森の楽校は、平成25年度から開講したプログラムです。1年を通して、里山を遊んで学んで楽しんで、いろいろな里山作業を体験します。26年度は今日が開講！去年から参加した会員も今年初めての会員も、みんなが集まりました。開園前の活動も、もう少しだけ。ガイダンスの後、開園に向けた活動をしました。

ガイダンス

第1回目の活動にあたって、ガイダンス(説明会)を行いました。なんとこの日は、公園では大規模コンサートの「アラバキ」と重なり、道路が渋滞！少し、時間を過ぎてから開始しました。



まずは、公園を代表して公園事務所長から挨拶。「1年間、楽しく活動しましょう。」

続いて、安全管理責任者から挨拶。「怪我をしない、怪我をさせない、両方ともが大切です。安全第一で楽しく活動しましょう。」

森の楽校の会員活動は、月1回、年間12回です。この里山の特徴は、四季がはっきりしていて、生物が多様なこと。

「里山を遊び、里山を学び、里山を守り、里山を活かす」がモットーです！

「森の楽校」へ！

春真っ盛りの里山では、食べられる野草もたくさんあります。今日のお昼は、野草を食べます。

里道で野草を摘みながら、観察しながらゆっくり登りました。

いろいろなスミレ、鮮やかに黄色のキジムシロ、湿地にはニリンソウ、林の中にヤマブキ、ミツマタ……。いろいろな花がいっぱい！



お昼は「春を味わう！」

ご飯は、自然共生園のお米です。
薪を使って飯盒で炊きました。ちょっとお焦げも入って、いい香りです。

さっき摘んできた野草は、お浸しや天ぷらに。天ぷらに使う小麦粉や油も自然共生園産です。炭火を使っていますが、この炭は去年、里山の炭焼き窯で焼いたもの。シイタケの炭火焼もしましたよ。

デザートには、アンコの団子。共生園産の小麦粉を練って丸めて作りました。アンコ用の小豆も、自然共生園産。

みんなで調理をして野外で食べるご飯は格別です！



園路名称サインづくり

開園の準備のため、ボランティアは記名サインやメインサインを作っています。今日は会員には園路の名前を書いたサインを作ってもらいます。

1家族ずつ、1つの名前。60cmの長さに切って半割りにしたスギ材を使います。名前の文字をバランスよく書いて、ルーターで掘っていきます。個性あふれるサインになりそうです！



冒険遊び

「やっぱり遊びたい！」の子供たちの声で、ジップライン登場。

座席に乗って、疾走しました。初めての子からも歓声があがりました。



第2回は5月31日(土)、今回の活動の園路名称サインの建て込みをします。

第3回は、6月28日(土)、開園後です。

その間の6月8日(日)は開園式、みんなで開園をお祝いしましょう！開園記念イベントを開催します。